

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2006-171514(P2006-171514A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-365736(P2004-365736)

【国際特許分類】

G 0 9 F	9/40	(2006.01)
A 6 3 F	13/08	(2006.01)
G 0 2 B	27/22	(2006.01)
G 0 2 F	1/13	(2006.01)
G 0 6 F	3/14	(2006.01)
G 0 9 F	9/46	(2006.01)

【F I】

G 0 9 F	9/40	3 0 2
A 6 3 F	13/08	
G 0 2 B	27/22	
G 0 2 F	1/13	5 0 5
G 0 6 F	3/14	3 6 0 A
G 0 9 F	9/46	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月5日(2007.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の筐体、第2の筐体、第3の筐体を有し、

前記第1の筐体は第1の表示素子と前記第1の表示素子を照射する第1の照明部を備え、前記第3の筐体は第2の表示素子を備え、前記第2の筐体は前記第2の表示素子を照射する第2の照明部を備え、

前記第3の筐体は、前記第2の筐体に重畳した第1の状態と、前記第1の筐体に重畳した第2の状態に移動可能に構成し、前記第1の状態では前記第1の表示素子と前記第2の表示素子がそれぞれ2次元画像を表示し、前記第2の状態では前記第1の表示素子と前記第2の表示素子により3次元画像を表示することを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記第3の筐体は、回転により前記第1の状態と前記第2の状態を移行することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記第3の筐体が水平移動することにより前記第1の状態と前記第2の状態を切り替えることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項4】

前記第1の筐体は、前記第1の照明部の光源となる第1の光源を有し、前記第3の筐体の回転を行う回転部には第2の光源を有し、

前記第1の状態では該第2の光源が前記第2の照明部の光源となり、前記第2の状態で

は該第2の光源は前記第1の照明部の光源となることを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項5】

可動式のタッチパネルを有し、該タッチパネルは前記第1の状態では前記第1の表示素子の上方に配置され、前記第2の状態では前記第2の表示素子の上方に配置されることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の表示装置。

【請求項6】

前記第2の表示素子は、前記第1の状態と前記第2の状態で、前記第3の筐体の回転軸延在方向を水平方向とした場合、同じ図形を表示する際にその表示位置を、前記第2の表示素子の上下方向で逆転させ、かつ表示する図形自体も上下反転することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置